

## 令和7年度 第1回地域学校協働本部運営委員会 議事録

開催日時：令和7年4月18日(金) 10時～11時45分

開催場所：我孫子市教育委員会 大会議室

出席者：佐藤委員、小谷委員、大坪委員、戸塚委員、森政委員、小池委員、齊藤委員、武者小路委員、高橋委員、鈴木委員、事務局4名

傍聴者：2名

### 1 指導課長挨拶

本日はご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。

令和4年度から取り組んでいるコミュニティ・スクールも4年目を迎えました。今年度も新たな運営委員さんの力をお借りして推進させていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

### 2 令和7年度地域学校協働活動推進事業計画について

新しく委員になられた方も多いので最初に地域学校協働活動についてご説明させていただきます。

平成13年度より地域に開かれた学校づくりを目指そうということで始まった学校評議員制度に続いて、平成22年度には湖北台中区で学校支援地域本部事業がスタートしコーディネーターが配置されました。そして布佐中区で先行的に小中一貫教育が始まり、平成28年度には地域との協働により研究発表を成功させコミュニティ・スクールに近い学校運営にも取り組み始めました。そして令和3年度正式に布佐中より導入されたコミュニティ・スクールは令和4年度には学校運営協議会が各校で設置され市内全校での実施となりました。この学校運営協議会では熟議を重ねるとともに、「学校一緒にやろうよ」をモットーにして、社会、地域総ぐるみで子供たちを支えていこうということがコンセプトとなっています。今までにあった地域による一方向の支援ではなく学校とともに協働して進めていく事業となっています。

昨年度の振り返りとして、ボランティアの活動実績は学校によって差があります。推進員を複数配置している学校は実績が伸びているようです。そのためなるべく多くの学校が推進員を複数配置できるように推奨していきたいと考えています。ただ、ボランティアの実績数にかかわらずその内容や質は高まっています。

布佐南小では1,2年生の七夕集会を例年行っていました。実施に当たり移動時間や、教師の負担など様々な課題を学校運営協議会で熟議した結果、会場を学校にし、シニアサロン「かえで」の方々に会場の飾りつけや七夕飾りの見本を作ってもらい、地域の高齢者を招き、「かえで」のメンバーも含めて子どもたちと一緒に触れ合いながら会を進めること

ができたことなど、地域貢献につながるとともにお互いにとってよりよい会を実施することが出来ました。

次に湖北台西小学校の取組です。湖北台西小学校の6年生が、昨年度に続き湖北台近隣センターで卒業記念発表会を行いました。子どもたちの「自分たちも地域の役に立ちたい」という思いから学校運営協議会で6年生と地域との交流会の企画を提案し、学校とまちづくり協議会が協働し、湖北台近隣センターで実施することができました。

職業人講話では推進員の方に渉外をお願いして地域の人脈で様々な業種の方に集ってもらいました。学校と地域がつながると、子どもたちの体験は豊かになり、地域の輪が広がり、豊かな地域コミュニティへとつながっていきます。子どもたちは、やがて地域の大人になり、ともに地域の子どもたちを育てる仲間となることが期待できます。

湖北台中学校では地域貢献学習として、地域の方々と懇談しながら地域課題について学び自分達のできる地域貢献活動について考えをまとめていきました。湖北駅へ出向いて発車メロディの変更や構内ポスターの有効活用について交渉したり、地元のカフェで湖北台中で収穫した野菜を食材として使ってもらえないかお願いしたり公園の清掃や除草作業をして地域のために中学生としてできることを実践していきます。

続いて令和7年度の取組の重点です。活動が停滞している学校を支援していきます。学校運営協議会の構成員の見直し、推進員の複数配置の推奨を考えています。指導課担当者が学校運営協議会に参加し指導・助言をしていきます。従来の研修会に加え講師を囲んでの学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員との懇談会を計画しています。地域学校協働活動推進員と教職員とのコミュニケーションをとれる体制を築くため、地域ルームの設置を推進していきます。関係機関とのネットワーク化をさらに推し進めるため指導課担当が地域会議等に参加、コミュニティ・スクールの周知に努めます。地域学校協働活動を位置付けた中学校区独自の小中一貫カリキュラムの修正に取り組みます。熟議の場としての学校運営協議会に向け運営がうまくいかない学校を支援していきます。

さらにこれからの学校の姿としてコモンズ（コミュニティに属する者の共有の場所）となることを目指しスクールパートナーズを増やし、育てていくことを目指しています。

### 3 協議

司 会 ただいま説明した令和6年度までの活動報告、および令和7年度事業計画についてご感想も含めご意見をいただければと思います。

小池委員 これまでの説明の中で主に大人側の成果、報告はよくわかりましたが、実際子ども達は何を思いどう感じているかがわかるとこちらから市民に対してお知らせするときによく伝わると思います。

司 会 湖北台中学校の子ども達のように先ほど紹介したスクラムなど見ていただくとよくわかると思います。白山中学校の様子はいかがでしょうか。

- 戸塚委員 今のところ白山中では子ども達の感想を聞く機会はないのですが、今年度より地区社協の方が学校運営協議会委員のメンバーに加わり、より地域との関りが増えていくので会議の中に生徒会の声を取り入れていこうと思います。
- 事務局 学校支援地域本部のときから地域の方々が自然に学校に入れるようになるまで十数年かかりました。まだまだ時間はかかります。
- 森政委員 いまでは地域の方がきてお手伝いしてくれるのは当たり前になっています。
- 鈴木委員 数字で成果、変化を示すのは難しいことですが、実際は子ども達の体験や学びが広がっています。
- 事務局 今後、子どもたちの声は活動の振り返りをしていくときの感想用紙などいろいろな意見をお伝えしていきたいと考えます。
- 小池委員 積極的に参加している子ども達だけではなく幅広くいろいろな意見を聞いてみたいですね。
- 佐藤委員 地域学校協働活動になったからといって保護者目線では特に何の変化も感じません。地域との交流も、たった1日の事業ですよ。資料を見るとカチッとすぎている気がします。小中一貫で小学校と中学校との隔たりをなくすといっても自分自身では小学校と中学校の隔たりを感じたことはありません。もっと身近なことから、例えば小学校低学年くらいまで落とし込んでいったらどうでしょうか。地域と交流することが先生達の負担にならないか心配です。しなければならぬというのはよくない。やわらかい形にしたほうがいい。
- 事務局 教職員の多忙化につながるという意見はこの取り組みが熟していない学校によく見られます。例えばある小学校では町探検の渉外や手配などをコーディネーターがすることにより教職員に余裕が生まれ、その道のプロが授業等に入ることにより豊かな学びに繋がります。他にも地域の人が入ることにより中2の職場体験などのコーディネートを推進員さんがしてくれる。家庭科の調理実習の手伝いなどに入っただけだと安全に授業を進めることも出来ます。
- 小谷委員 先ほど紹介されたスクラムの記事の湖北台中生は湖北台西小の6年生の時に地域とかかわって卒業発表会をやった子ども達たちです。小学校に入学したばかりの頃は落ち着きがなくてどうなることやら不安でしたが、6年生になったときに何かをやりたいと思った気持ちと地域とが繋がリイベントが成功したことにより達成感があったと思います。次の年の6年生も盛り上がって2月に発表ができました。学年によって雰囲気は違うように思います。地域の方々とコミュニケーションをとり子ども達が成長したことがよかったと思います。
- 鈴木委員 この子たちが大人になってこういった経験を活かしてくれることを期待したいです。
- 武者小路委員 地区社協が協力しているのは認知症サポーター講座と高齢者疑似体験です。実績としてなかなか見えにくいですが、近所のスーパーから子ども達がお

年寄りの手助けをしていたよ、とか保護者からお礼の電話があつたりします。こういったことを表立って報告をする機会はありませんが、いろいろと感想はいただいています。

高橋委員 子ども支援課であびっ子を担当しています。あびっ子ではサポーターが子ども達にいろいろ指導してくれていますが。人材が足りていないので紹介しあえるような関係になれたらと思います。

大坪委員 地域の実情はいろいろな顔で参加しないと見えてこないです。私は学校では職業人講話、英語の読み聞かせボランティアをしています。読み聞かせをしている保護者の方々の共通の悩みは読み聞かせの担い手が見つからないといったことです。これは私たちの横に繋がったネットワークで足りない部分を補い合っています。職業人講話でも同様にお互いに助け合っています。地区や学区、市町村で区切るのではなくもっと広く繋がれば良いと思います。英語の読み聞かせボランティアの読み手を9年間声を掛け続けて3名の方に参加してもらえました。その内の1人のエピソードですが、高校で不登校の子がいてその子に読み手として加わってもらいました。子ども達も喜ぶし、その子にとってもやりがいにつながり、その学校で他のボランティア活動にも参加していると聞いています。

教育ミニ集会など時間が合わないので参加ができない方には動画を配信するなどして自分のやり方で関わられるようにしています。今後は保護者の方からアンケートをとって皆さんの職業観などを冊子にしてまとめたいと思っています。

森政委員 難しく考えずに進んでいくのがいいかと思います。保護者への周知が不足しているところは考えて進んでいきたいです。

司 会 ここまで貴重なご意見ありがとうございました。以上で協議については終了とさせていただきます。事務局に司会を戻します。

事務局 今回の協議していただいた内容については「確実に進めて第2回の本委員会で評価、助言をいただきたい」と思います。コミュニティ・スクールも4年目を迎え、学校運営協議会委員も2期目が2年目に入ったことからさらなる学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化の推進、並びに小中一貫教育との一体的推進を図り、本事業の充実に尽力してまいりますので今後ともよろしく願いいたします。終わりに次第5の連絡についてです。次回の運営委員会は令和8年2月13日(金)10:00からの予定です。

以上を持ちまして令和7年度第1回我孫子市地域学校協働活動運営委員会を終わります。